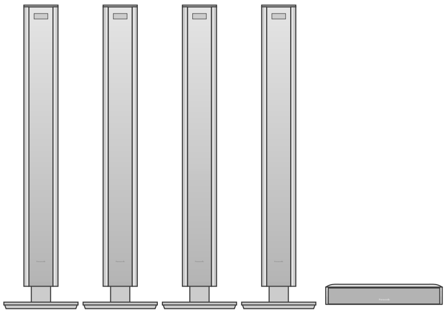


SB-FS70　　SB-PC70

防磁設計 社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

Panasonic

取扱説明書
スピーカーシステム

品番 SB-TP70

本書は、スピーカーシステム SB-FS70/SB-PC70の説明書です。



このたびは、スピーカーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（裏表紙）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

■スピーカーシステムの構成

スピーカーシステム	SB-FS70×4台
スピーカーシステム	SB-PC70×1台（別梱包）
アクティブサブウーハー	SB-WA70×1台（別梱包）

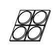
- スピーカーシステム（SB-FS70）は4台とも同じです。フロント（左、右）、サラウンド（左、右）スピーカーとしてご使用ください。
- スピーカーシステム（SB-PC70）はセンタースピーカーとしてご使用ください。

■付属品の確認

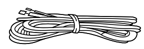
まず最初に付属品を確かめてください。

SB-PC70

□ゴム足 .... 1シート（4個）
買い替え時は1シート(RFA0631A-K)です。

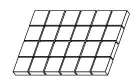


□スピーカーコード.................................. 1本
(REE1203A) 約4 m

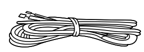


SB-FS70

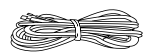
□当てゴム .... 1シート（24個）
買い替え時は1シート(RFA2645A)（6個）です。



□スピーカーコード.................................. 2本
(REE1203A) 約4 m



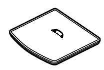
□スピーカーコード.................................. 2本
(REE1203C) 約10 m



□支柱組立品... 4本
(RYQ0526-S)



□スタンドベース....................................... 4本
(RYQ0521-S)



□スタンドベース取り付けネジ................. 8本
(XTB4+30JFZ)



□ナイロンクランプ.................................. 4個
(RMR1503-W)



□ナイロンクランプ取り付けネジ.............. 4本
(XTB3+8JFN)



付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
(　) 内は買い替え時の品番です。

保証書別添付　　上手に使って上手に節電

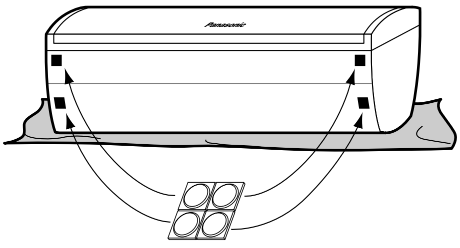
組み立て・設置のしかた

前面のネットに無理な力を加えないでください。前面のネットは取り外しができません。組み立てるときは、平らな面の上に置き、傷付き防止のため必ず布などを敷いてください。各作業でのネジ止めは、ゆるみのないようしっかり締めてください。

センタースピーカー（SB-PC70）

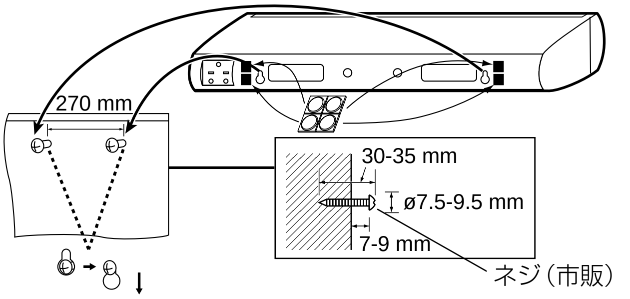
■台や床置き時のゴム足（付属）取り付け

振動による移動や転倒を防ぐため、設置する底面の4個所にゴム足（付属）を貼ってください。

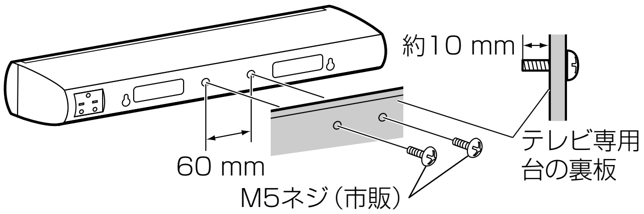


■壁掛けするには

ゴム足（付属）は壁に接触する面の4個所に貼ってください。



■うしろからネジ止め可能なテレビ専用台に取り付けるには



ネジの長さ：専用台板厚＋約10 mm

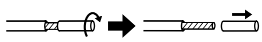
お願い

取り付ける壁、専用台は10 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

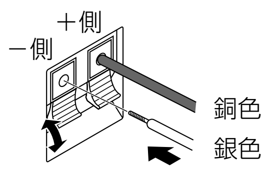
■スピーカーコードの接続

スピーカーコードの色をご確認の上、正しく接続してください。誤った接続をすると故障の原因になります。

❶ スピーカーコードの先端表皮をねじりながら、抜き取る

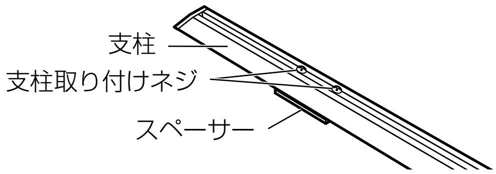


❷ 端子の穴が見えるまでレバーを押し、芯線を差し込んで離す



フロントおよびサラウンドスピーカー（SB-FS70）

■支柱組立品（付属）の確認



■支柱組立品（付属）、スタンドベース（付属）の取り付け

スピーカー本体はネット側を下向きに置きます。

❶ スピーカーコード（付属）をスピーカー端子に接続し、コードを支柱組立品のコード穴からスタンドベースまで通す
- スピーカーコード約10 m：サラウンド用
約4 m：フロント用
- スピーカー端子の接続は 3ページの「スピーカーコードの接続」を参照してください。

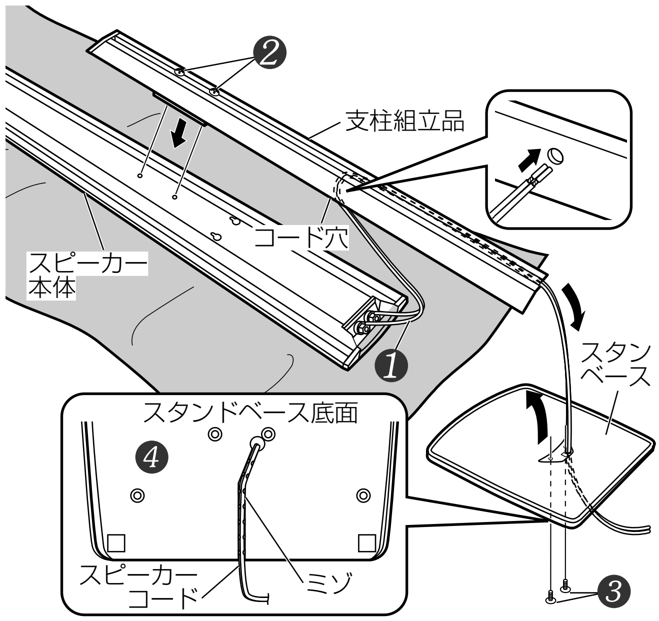
❷ スピーカー本体の高さを決めてコードの長さを調節した後、支柱取り付けネジ2本で支柱組立品をスピーカー本体に取り付ける。

スピーカー本体の高さ調整範囲は下記を参照してください。

お願い スピーカーコードをはさみ込まないでください。

❸ スピーカーコードの長さを調節し、スタンドベース取り付けネジ（付属）2本でスタンドベースを支柱組立品に取り付ける

❹ スピーカーコードをスタンドベース底面のミゾにはめ込む



■高さ調整のしかた

❶ 上記手順❸の後、スピーカーコードを端子側に引き出す

❷ 支柱取り付けネジ2本を支柱が動く程度にゆるめる

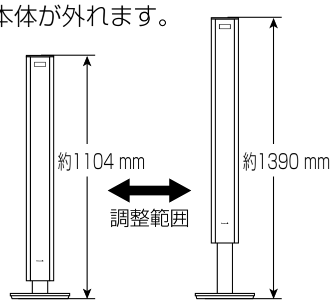
ゆるめすぎるとスピーカー本体が外れます。

❸ スピーカー本体の高さを変えてコードの長さを調節した後、支柱取り付けネジ2本をしっかり絞める

お願い

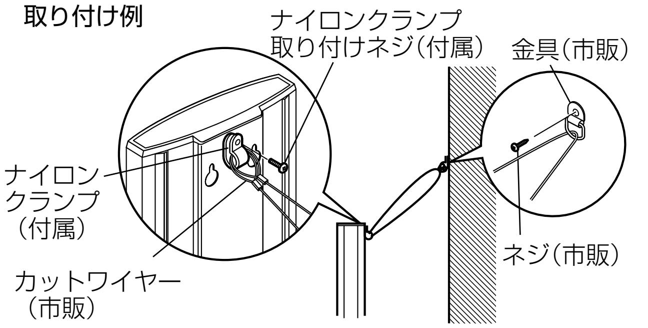
スピーカーコードをはさみ込まないでください。

❹ スピーカーコードを処理する（上記取り付け手順❹）



■転倒防止用ワイヤーを取り付けるには

取り付け例

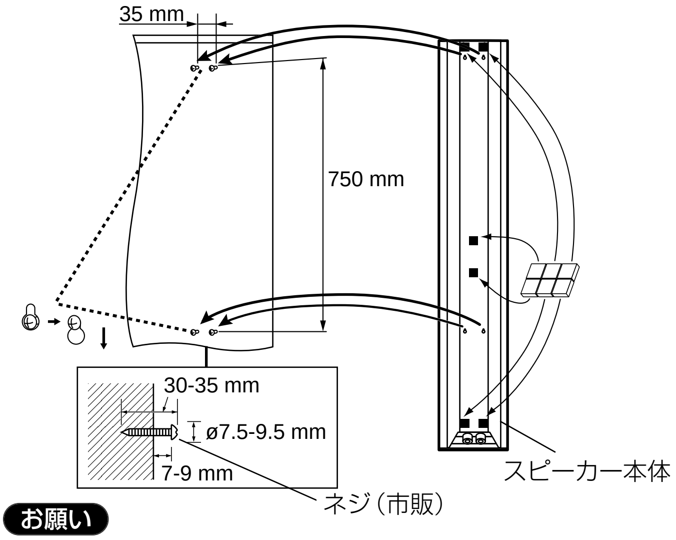


お願い

取り付ける壁には、40 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

■壁掛けするには

当てゴム(付属)は壁に接触する面の4個所と、支柱取付穴の2個所に貼ってください。



お願い

取り付ける壁には、18 kg以上の重量を支えられる強度が必要です。施工業者の方などにご相談ください。

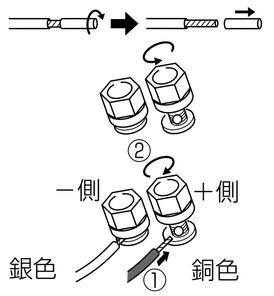
■スピーカーコードの接続

スピーカーコードの色をご確認の上、正しく接続してください。誤った接続をすると故障の原因になります。

❶ スピーカーコードの先端表皮をねじりながら、抜き取る

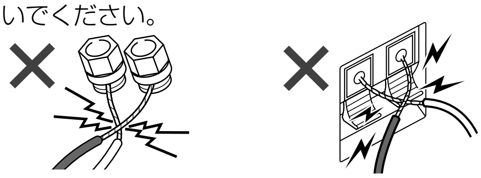
❷ 穴が見えるまでつまみを回してゆるめる

❸ 穴に芯線を差し込み (①)、つまみを締める (②)



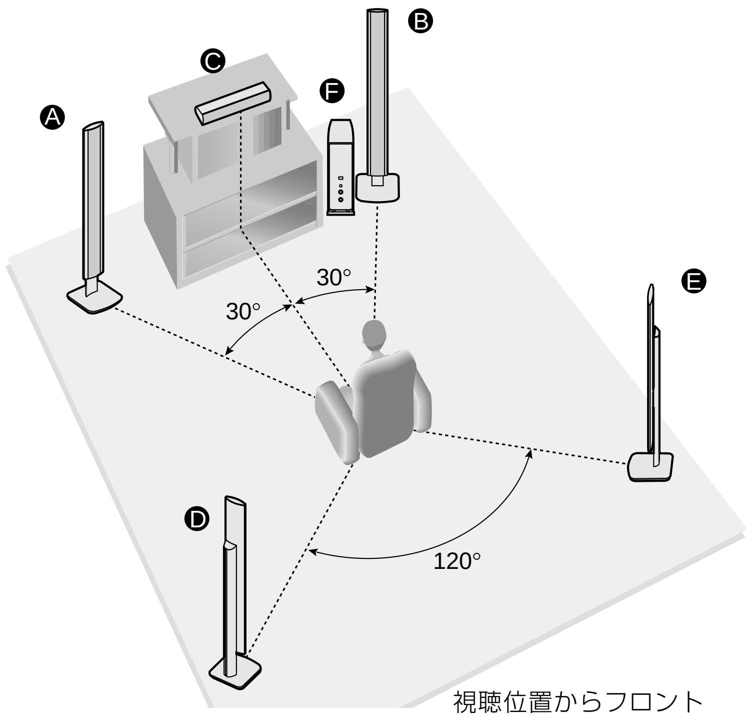
お願い

- スピーカーコードの銅色側(＋)、銀色側(－)は絶対にショートさせないでください。

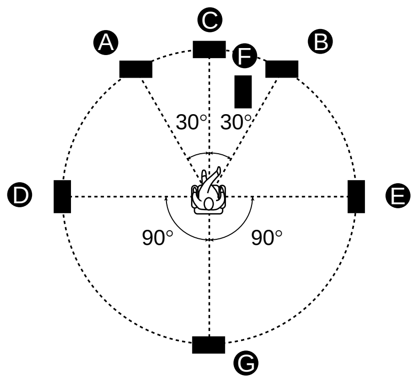


- スピーカーコードを接続した状態でスピーカーを移動しないでください。ショートなどの原因になることがあります。
- スピーカーコードの配線処理は、束ねてひもでくくるなどして、確実に行ってください。

設置例



サラウンドバックスピーカー Ⓖ (別売り) を設置する場合



視聴位置からフロント Ⓐ Ⓑ ／センター Ⓒ ／サラウンド Ⓓ Ⓔ ／サラウンドバック Ⓖ の各スピーカーを同じ距離に設置するのが理想です。
なお、角度はあくまでも目安です。

- **フロントスピーカー (Ⓐ 左、Ⓑ 右 : SB-FS70)**
  テレビの左右に設置してください。
- **センタースピーカー (Ⓒ : SB-PC70)**
  テレビの真上か真下に設置してください。ただし、直接テレビの上に置くと、振動によりテレビ画面が乱れることがありますのでラックや棚などに設置してください。
- **サラウンドスピーカー (Ⓓ 左、Ⓔ 右 : SB-FS70)**
  視聴位置の左右横またはやや後ろに設置してください。
- **サブウーハー (Ⓕ : SB-WA70)**
  後面側に5 cm以上の空間があくように設置してください。置く場所によって低域の周波数特性が変化します。部屋の隅に置くと音量が増加します。
- **サラウンドバックスピーカー (Ⓖ : SB-PC70A) (別売り)**
  視聴位置の真後ろで1 mほど高く設置してください。

■よりよい音響効果を得るための設置

スピーカーの設置方法によっては、低音の量や音像定位など、音質が変わる場合がありますので、以下のことを参考にして設置してください。

- 平らで安定した場所に設置してください
- 床、壁、コーナーに近づけて設置すると低音が増えます
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛けることをおすすめします

■次のような設置場所は避けてください。

- 直射日光のあたる場所など温度が高いところ
- 振動の多いところや湿気の多いところ

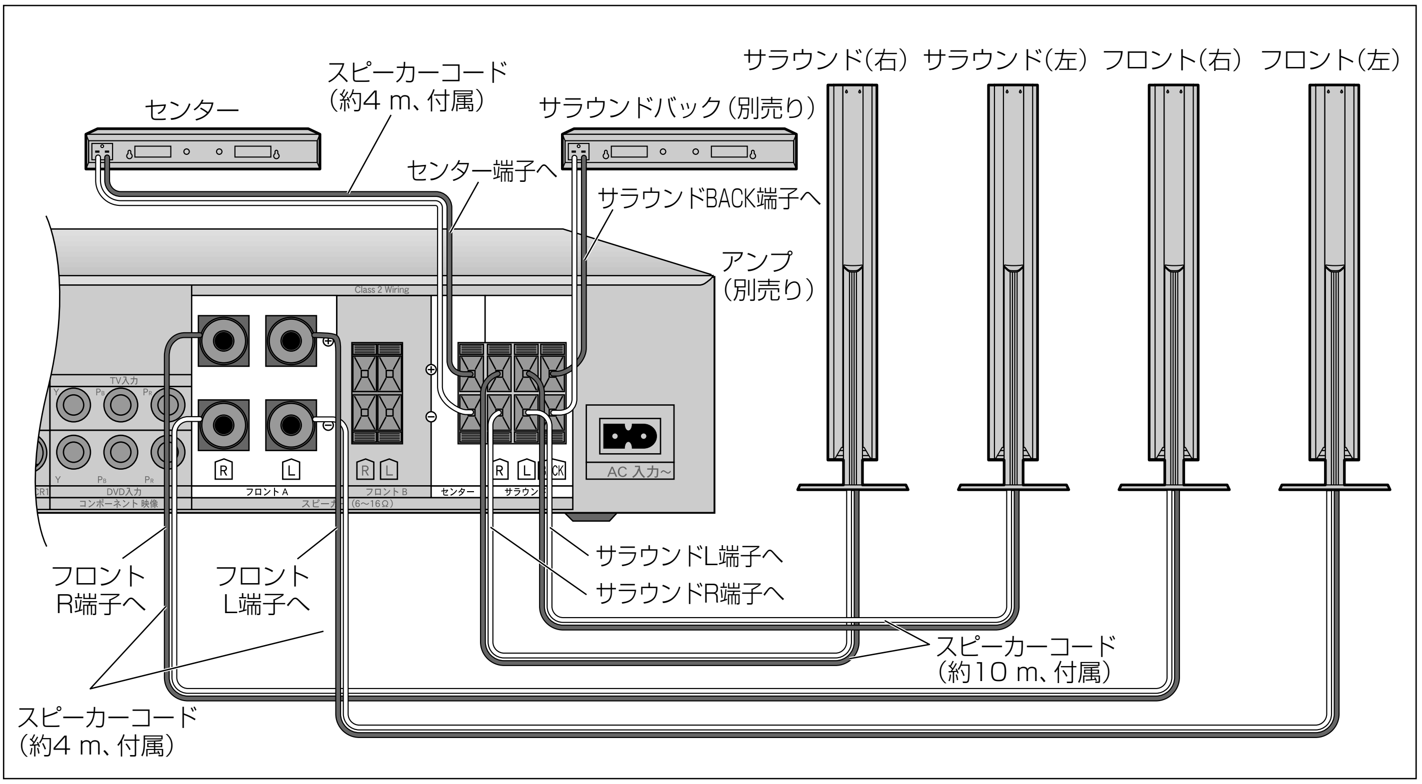
アンプへの接続のしかた

■本機のインピーダンスと許容入力

インピーダンス：6 Ω
許容入力：100 W（RATED）
本機が接続できるアンプは、定格出力が100 W（インピーダンスが6 Ωのとき）またはそれ以下のものに限ります。
この定格以上のアンプを使用すると、過大入力による異常音が発生したり、アンプやスピーカーが破損したり、火災の危険が生じる場合があります。もし、破損が生じたり演奏中に異常が生じたときは、システムの電源コードを抜いて専門のサービスマンにご相談ください。
なお、アンプによっては複数の定格出力を記載しているものがありますのでよくご確認ください。

■接続の前に

- アンプの電源を切ってください。
- インピーダンスが6 Ωのスピーカーに適合したアンプ（別売り）をご使用ください。



使用上のお願い

■大きな音量で連続使用しない

スピーカー特性の劣化や寿命が極端に短くなる原因になることがあります。

■テレビに色ムラが生じた場合、テレビとの距離を離す

- 本機は、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム<防磁設計（JEITA）>*ですが、設置の仕方によっては、色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15 分～30 分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には、スピーカーを更に離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本機との相互作用により、テレビに色ムラを発生する場合がありますので、設置にご注意ください。
- テレビの種類や画面の大きさによっては、画面へ影響する場合があります。テレビから離してご使用ください。

*「防磁設計（JEITA）」とは社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

■磁気を帯びたものを近づけないでください

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

■通常の使用時でも以下のような場合は、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。

- 再生音が歪んだとき
- マイクやレコードプレーヤーのハウリング音、FM放送の局間ノイズ、発振器やテストディスク、電子楽器など、大きな信号が連続して加わるとき
- 音質調整をするとき
- 電源ボタンを入／切するとき

■保護回路について

本機には保護回路が備わっています。アンプからパワーが強すぎるなどの異常な信号が入ってきたときは、保護回路が働いて自動的に信号入力が遮断されます。

- **再生中、音が急に途切れたら・・・**

❶アンプの音量を下げる
❷再生ソースや接続に異常（ショートなど）がないか確かめる
もし異常がなければ、数分後に保護回路が解除され音が出るようになります。

- **保護回路が解除された後は・・・**
アンプの音量を上げすぎないように注意してください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）
お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間
当社は、スピーカーシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

もう一度取扱説明書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡下さい。

- **保証期間中は**
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。次の修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	スピーカーシステム	お買い上げ日	年　月　日
品番	SB-TP70(SB-FS70/SB-PC70)	故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。
1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。http://panasonic.jp/support/

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時
電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187
FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル パナソニック　修 理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251 **旭川** 旭川市2条通21丁目左1号 ☎(0166)31-6151	**帯広** 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎(0155)33-8477	**函館** 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東 北 地 区

青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎(017)739-9712 **秋田** 秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎(018)826-1600	**岩手** 盛岡市羽場13地割30-3 ☎(019)639-5120 **宮城** 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117	**山形** 山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100 **福島** 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎(0243)34-1301

首 都 圏 地 区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎(028)689-2555 **群馬** 高崎市大沢町229-1 ☎(027)352-1109 **茨城** つくば市花畑2丁目8-1 ☎(029)864-8756	**埼玉** 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960 **千葉** 千葉市中央区星久喜町172 ☎(043)208-6034 **東京** 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780	**山梨** 甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5171 **神奈川** 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720 **新潟** 新潟市東明1丁目8-14 ☎(025)286-0171

中 部 地 区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎(076)294-2683 **富山** 富山市寺島1298 ☎(076)432-8705 **福井** 福井市開発4丁目112 ☎(0776)54-5606	**長野** 松本市大字笹賀7600-7 ☎(0263)86-9209 **静岡** 静岡市西島765 ☎(054)287-9000 **名古屋** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎(052)819-0225	**岡崎** 岡崎市岡町南久保28 ☎(0564)55-5719 **岐阜** 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎(058)323-6010 **高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎(0577)33-0613 **三重** 久居市森町字北谷1920-3 ☎(059)255-1380

近 畿 地 区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎(077)582-5021 **京都** 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎(075)672-9636	**大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎(06)6359-6225 **奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎(0743)59-2770	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎(073)475-2984 **兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎(078)272-6645

中 国 地 区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎(0857)26-9695 **米子** 米子市米原4丁目2-33 ☎(0859)34-2129 **松江** 松江市平成町182番地14 ☎(0852)23-1128	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎(0853)21-3133 **浜田** 浜田市下府町327-93 ☎(0855)22-6629 **岡山** 岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎(086)292-1162	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎(082)295-5011 **山口** 山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎(083)986-4050

四 国 地 区

香川 高松市勅使町152-2 ☎(087)868-9477 **徳島** 徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎(088)698-1125	**高知** 南国市岡豊町中島331-1 ☎(088)866-3142	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎(089)971-2144

九 州 地 区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎(092)593-9036 **佐賀** 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎(0952)26-9151 **長崎** 長崎市東町1949-1 ☎(095)830-1658	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎(097)556-3815 **宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎(0985)63-1213 **熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎(096)367-6067	**天草** 本渡市港町18-11 ☎(0969)22-3125 **鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎(099)250-5657 **大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎(0997)53-5101

沖 縄 地 区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11　☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0105

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容を、次の絵表示で説明しています。

⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠注意

不安定な場所に設置しない

- **上に大きなもの重いものを載せない**
- **取扱説明書に記載されている以外の方法で壁などへ取り付けない**
- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

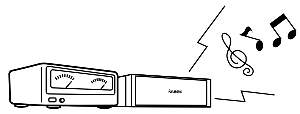
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

機器に乗らない



- フロント／サラウンドスピーカーのスタンドベースの上に乗って、スピーカー本体をゆらしたりしないでください。
- 倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

スピーカーの許容入力を超えるアンプに接続しない



- 定格以上の出力を持つアンプに接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

主な仕様

■スピーカーシステム（SB-FS70）

型式	3ウェイ4スピーカーシステム 密閉型
使用スピーカー	
ウーハー	8 cmコーン型×2
ツイーター	2.5 cmセミドーム型
スーパーツイーター	1.2 cmドーム型
インピーダンス	6 Ω
許容入力（IEC）	200 W（MAX） 100 W（RATED）
出力音圧レベル	81 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	2.7 kHz, 20 kHz
再生周波数帯域	140 Hz ～ 100 kHz（−16 dB） 180 Hz ～ 90 kHz（−10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	（スタンド含む） 262 mm×1104 mm（MIN）～1390 mm（MAX）×264 mm
質量	約 8.0 kg

■スピーカーシステム（SB-PC70）

型式	3ウェイ5スピーカーシステム バスレフ型
使用スピーカー	
ウーハー	5 cmコーン型×4
ツイーター	2.5 cmセミドーム型
インピーダンス	6 Ω
許容入力（IEC）	200 W（MAX） 100 W（RATED）
出力音圧レベル	82 dB/W（1.0 m）
クロスオーバー周波数	3.5 kHz, 4.5 kHz
再生周波数帯域	130 Hz ～ 50 kHz（−16 dB） 150 Hz ～ 45 kHz（−10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	430 mm×64 mm×100 mm
質量	約 1.8 kg

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

お手入れ

柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット シンボルマーク

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	SB-TP70
	販売店名	☎（　　）　－	お客様ご相談窓口 ☎（　　）　－	

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.（松下電器産業株式会社）
All Rights Reserved.

RQT7691-2S
M0304TK2025